

福岡市CN処理場計画（中部・西部・新西部水処理センター）

- 福岡県福岡市の中部・西部・新西部水処理センターにおいて、省エネ技術の導入や下水バイオガス発電等の創エネ技術の導入により、カーボンニュートラルを推進。



燃料化

+ 熱回収



- ・3つの水処理センターから集約した下水汚泥で『固形燃料』を製造。
- ・乾燥工程で発生する排熱を回収。

省エネ

- ・高効率散気装置やブロワ等の導入により、更なる省エネ化。
- ・回収した熱を消化槽の加温等に利用。

熱利用



下水バイオガス発電

+ 熱回収

- ・消化槽で発生した下水バイオガスを利用し発電。
- ・発電の際に発生する排熱を回収。



太陽光

- ・FIT制度によるメガソーラーが稼働中。
- ・加えて、『PPA方式』により導入を拡大。



- 省エネ技術導入によるエネルギー削減効果 7%
- 創エネ技術導入によるエネルギー創出効果 11%